

# 日本鳥学会2012年度大会

## (100周年記念大会)

# プログラム

---

2012年9月14日 - 17日

東京大学 本郷キャンパス

# 日本鳥学会 2012年度大会 (100周年記念大会) プログラム

## 会期

- 9月14日 (金) 自由集会
- 9月15日 (土) 口頭発表、ポスター発表、自由集会
- 9月16日 (日) 総会、100周年記念式典、記念講演、記念シンポジウム、懇親会
- 9月17日 (月) 黒田賞受賞講演、口頭発表、ポスター発表、自由集会

## 会場：東京大学本郷キャンパス

- 100周年記念式典・記念講演・記念シンポジウム・総会：安田講堂
- 黒田賞受賞講演・口頭発表A会場：弥生講堂一条ホール
- 口頭発表B会場：農学部1号館第8講義室
- ポスターPA会場：弥生講堂
- ポスターPB会場：弥生講堂アネックス
- 自由集会：農学部1号館・2号館
- 懇親会：東京大学生協中央食堂
- 販売書籍・機器展示ブース：弥生講堂アネックス

## 日程

	9:00	12:00	14:00	16:00	18:00	20:00
14日						自由集会
15日	口頭発表		ポスター	口頭発表	自由集会	
16日	総会	100周年 記念式典	100周年 記念講演	100周年記念 シンポジウム	懇親会	
17日	黒田賞 講演	口頭発表	ポスター	口頭発表	自由集会	

大会と並行して、以下の記念展示も開催されています。

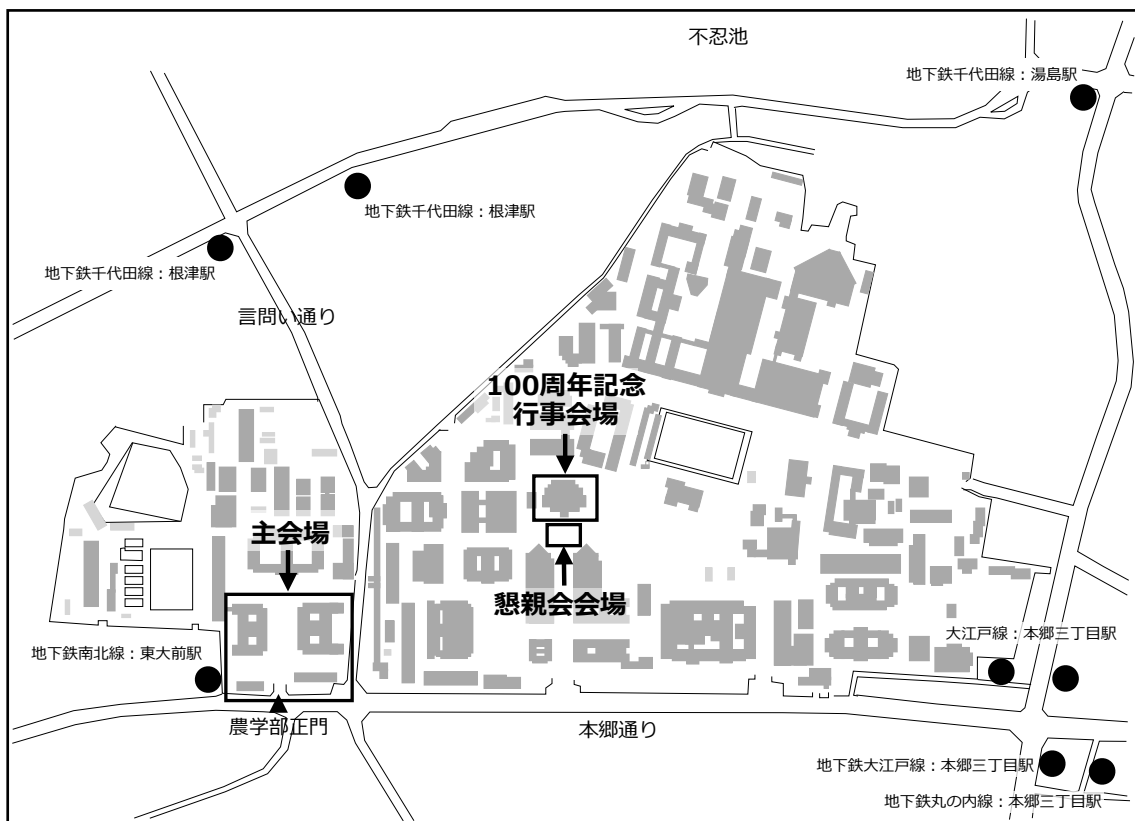
### 日本鳥学会100周年記念展示「日本鳥学会の百年」

期間：8月17日 - 9月21日

会場：東京大学総合研究博物館1階

東京大学総合研究博物館、日本鳥学会、山階鳥類研究所 共催

## 交通アクセス



### 主会場：農学部 1, 2号館・弥生講堂・弥生講堂アネックス

地下鉄南北線「東大前」から徒歩4分、地下鉄千代田線「根津」から徒歩7分

地下鉄丸の内線・大江戸線「本郷三丁目」から徒歩25分

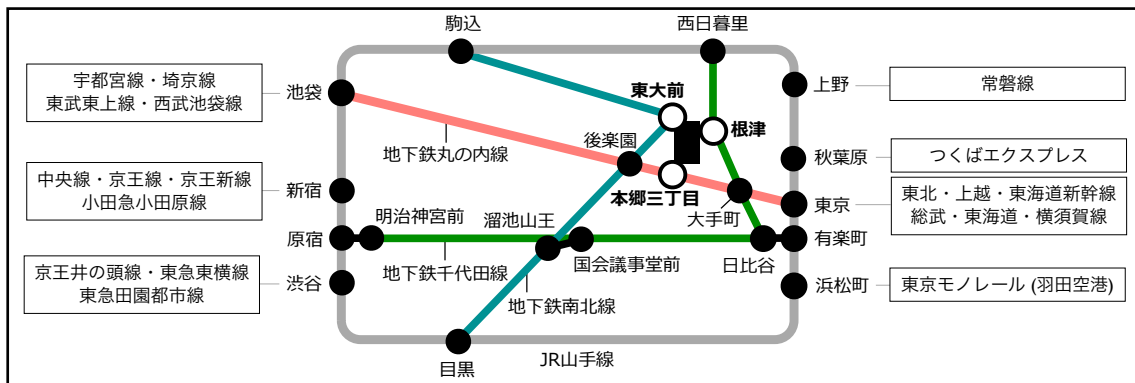
### 100周年記念行事会場：安田講堂

地下鉄南北線「東大前」から徒歩20分、地下鉄千代田線「根津」から徒歩20分

地下鉄丸の内線・大江戸線「本郷三丁目」から徒歩20分

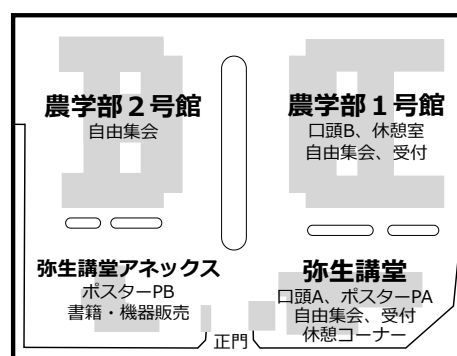
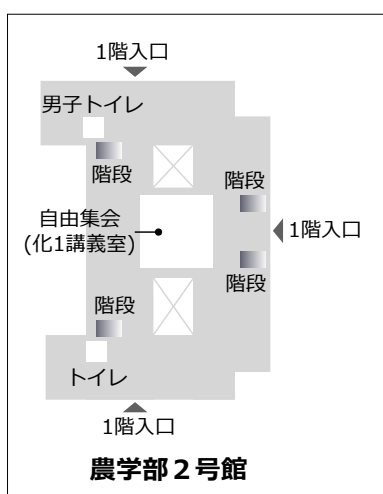
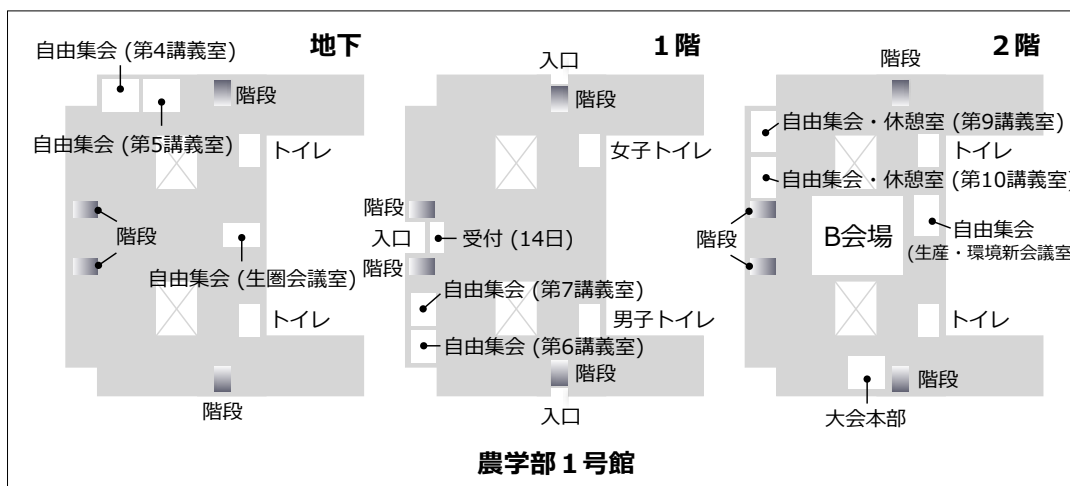
### 懇親会：東京大学生協中央食堂

## 路線

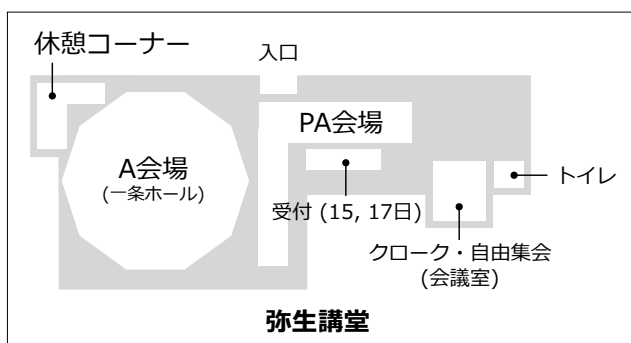
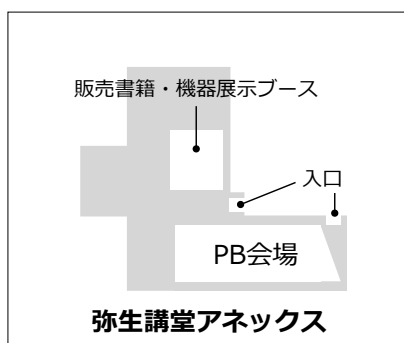


主に南北線 (東大前駅)、千代田線 (根津駅)、丸の内線 (本郷三丁目駅) に関する路線と駅を示しました。他にも便利な経路があります。乗り継ぎ関連のウェブサイトをご覧ください。

## 主会場内案内



主会場の配置



### 自由集会

- ・ 2号館 2階 化1 講義室 : ガンカモ (14日)
- ・ 1号館地下 生圏会議室 : 鳥類の分子系統学 (15日)
- ・ 1号館地下 第4 講義室 : 鳥はどこ? (15日)、都市鳥 (17日)
- ・ 1号館地下 第5 講義室 : 洋上風力発電 (15日)、鳥への餌やり (17日)
- ・ 1号館1階 第6 講義室 : Oology (15日)
- ・ 1号館1階 第7 講義室 : カワウ (15日)
- ・ 1号館2階 第9 講義室 : アビ科の鳥 (14日)、鳥類の形態 (15日)
- ・ 1号館2階 第10講義室 : 生活史戦略 (14日)、シギ・チドリ (15日)
- ・ 1号館2階 生産・環境新会議室 : ニホンライチョウ (15日)
- ・ 弥生講堂 会議室 : 参加型調査 (15日)

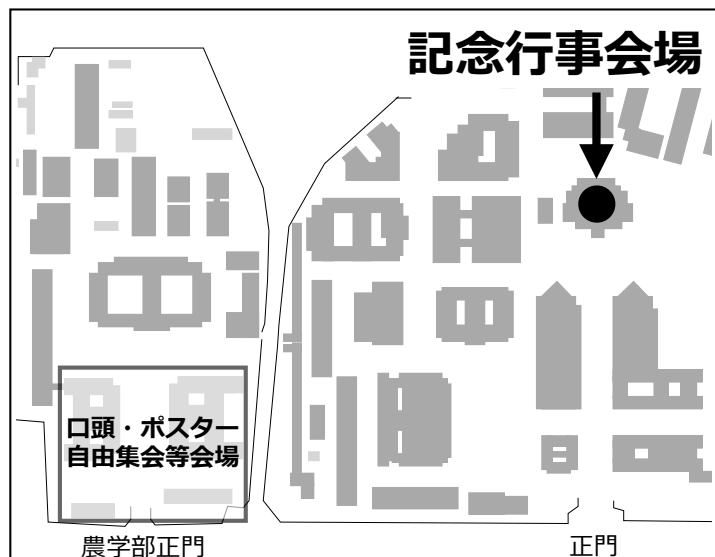
# 100周年記念行事

9月16日 記念式典 10:00 - 11:30

記念講演 13:00 - 14:25

記念シンポジウム 14:40 - 17:40

東京大学 安田講堂



# 日本鳥学会100周年記念祝賀会プログラム

2012年9月16日

## 記念式典

- 10:00 開会宣言：西海功副会長  
10:01 開会挨拶：江崎保男会長  
10:15 来賓祝辞：環境省、文化庁  
10:25 来賓祝辞：Prof Dr Franz Bairlein, President of IOU  
10:30 他の来賓紹介と祝賀メッセージ披露：西海功副会長  
10:35 「鳥学会100年のあゆみ」中村浩志100周年記念委員長  
11:30 閉会宣言：西海功副会長  
(司会進行：西海功副会長)

## 記念講演 13:00 -14:25

### **Current perspectives in the study of bird migrations (鳥の渡り研究に関する新しい展望)**

Franz Bairlein, Institut für Vogelforschung "Vogelwarte Helgoland",  
President of IOU (Germany)

### **Evolutionary genomics of host-pathogen interactions: House Finches and Mycoplasma (宿主と病原菌の相互作用で生じるゲノム進化：メキシコマシコとマイコプラズマ)**

Scott Edwards, Harvard University, Past-Chair of SPC (USA)

Coordinated by Keisuke Ueda (2014 IOCongress-Convener)

## 記念シンポジウム “Phylogeography of Birds in East Asia” 「東アジアにおける鳥類の系統と進化」 14:40-17:40

### **Process of avian endemism revealed by phylogeographical approach and Ecological Niche Model: China avian endemism case report (生物系統地理学的手法とニッチモデルによって示される鳥類固有化の過程：中国鳥類の固有化を例にして)**

Lei Fumin (Key Laboratory of Zoological Systematics and Evolution,  
Institute of Zoology, Chinese Academy of Sciences, China)

### **The Taiwan Connection-- relationship between Taiwan and East Asian birds (掛け橋となる台湾—台湾と東アジアの鳥類の関係)**

Lucia Liu Severinghaus (Research Center for Biodiversity, Academia  
Sinica, Taiwan) and others

### **DNA barcoding and the perspective of researches on species classification in Asia: Japanese Islands may have contributed to the rich species diversity of Asian birds (アジアでのDNAバーコードの結果と今後の種分類をめぐる研究への期待：日本列島はアジアの鳥の種多様性に寄与してきたかもしれない)**

Isao Nishiumi (National Museum of Nature and Science, Japan)

**Phylogeographic patterns and microevolution processes in crows and other birds in East Palearctic (旧北区東部におけるカラス類ほかの生物系統地理学的パターンと小進化の過程)**

Alexey P. Kryukov (Institute of Biology & Soil Science, Far East Branch  
Russian Academy of Sciences, Russia)

**General Discussion (総合討論)**

Coordinated by Hiroyoshi Higuchi (Keio University SFC)

- \* 記念式典は原則日本語、記念講演とシンポジウムは原則英語で行われます。
- \* 記念講演とシンポジウムの要旨は、受付で配布いたします別冊子をご覧ください。

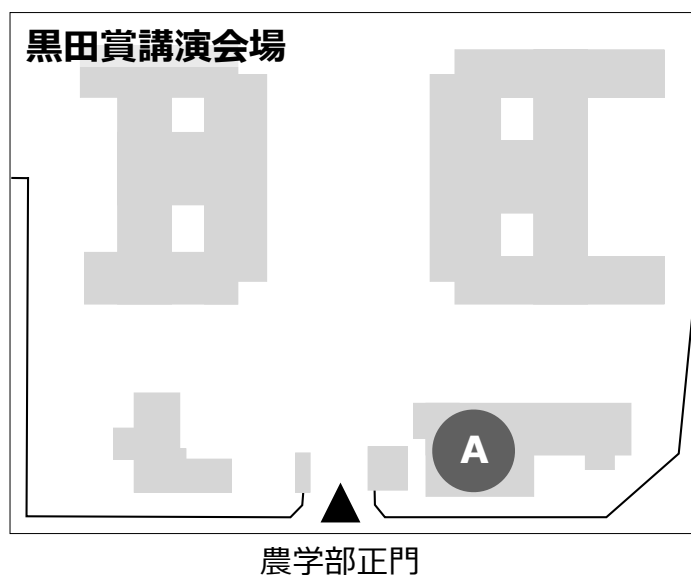
# 第3回 日本鳥学会黒田賞受賞講演

## 森林・林業と鳥類多様性の関係を探る

山浦悠一 (北海道大学大学院農学研究院)

9月17日 9:00 - 9:45

弥生講堂 A 会場 (一条ホール)





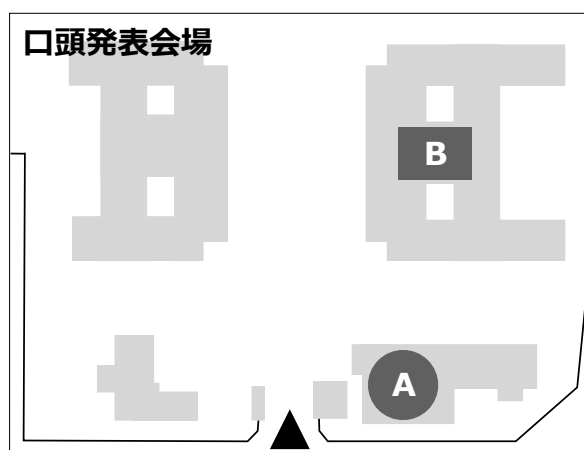
# 口頭発表

9月15日 午前の部 9:00-12:10 午後の部 15:20-17:30

9月17日 午前の部 10:00-12:10 午後の部 15:20-17:30

A 会場：弥生講堂一条ホール

B 会場：農学部1号館 第8講義室



農学部正門

口頭発表 A会場 9月15日

9:00	A1	片野鴨池で越冬するトモエガモの採食地の分布	○櫻井佳明, 田尻浩伸, 田米希久代, 中野夕紀子, 山本芳夫, 池田豊隆, 山村嘉康, 岡本裕子
9:15	A2	巨椋池干拓地における鳥類群集の季節変動パターンとその要因	○中川潤, 江崎保男
9:30	A3	イカルチドリは留鳥なのだろうか? - 埼玉県中央部の河川での非繁殖期の生態 -	内田博
9:45	A4	三重県周辺におけるコアジサシの営巣地の変遷について	武田恵世
休憩 (11:00 - 11:10)			
10:00	A5	佐渡島におけるトキの再導入個体群の存続可能性分析	○永田尚志, 山岸哲
10:15	A6	佐渡島中西部における放鳥トキの餌場利用 - 行動からの読み解きを試みる -	○中津弘, 永田尚志, 山岸哲
10:30	A7	佐渡島におけるトキの営巣場所選択: 局所と景観スケールからのアプローチ	○上野裕介, 金子洋平, 中津弘, 永田尚志, 山岸哲
10:45	A8	日本産と中国産のトキのウモウダ二相	○黒木知美, 長堀正行, 島野智之
休憩 (11:00 - 11:10)			
11:10	A9	富山県氷見市におけるミサゴの繁殖状況	野口将之, 土井康義, ○穴田哲
11:25	A10	ハヤブサの保全対策について	○東親志, 松尾佳久
11:40	A11	繁殖開始直前のオオタカオスの死亡や消失に対するつがいメスの対応	○大堀聡, 内田博
11:55	A12	標識装着および計測作業がシマフクロウ巣内雛の行動に与える短期的影響	早矢仕有子
昼休み, ポスターセッション (12:10 - 15:20)			
15:20	A13	外来鳥類の防除計画の事例とその課題	○佐藤重穂, 石田健, 江口和洋, 川上和人, 加藤ゆき
15:35	A14	移入ソウシチョウへのカッコウ類の初托卵例	○東條一史, 中村秀哉
15:50	A15	海鳥にとって外来哺乳類・ノヤギとは何か? - 小笠原諸島智島列島におけるノヤギ排除後の海鳥分布の変化 -	○鈴木創, 堀越和夫, 佐々木哲朗, 稲葉慎
16:05	A16	三宅島におけるイタチ導入前後のウグイスの巣高の変化	○濱尾章二, 樋口広芳
休憩 (16:20 - 16:30)			
16:30	A17	八代海におけるクロツラヘラサギの採餌生態	○高野茂樹, 逸見泰久
16:45	A18	東日本大震災がコクガンの分布に与えた影響	○嶋田哲郎, 呉地正行, 鈴木康, 宮林泰彦, 樋口広芳
17:00	A19	東日本大震災はオオセッカにどのような影響を与えたか	○高橋雅雄, 津曲隆信, 蛭名純一, 宮彰男, 麦沢勉
17:15	A20	ツバメの巣の放射性物質汚染状況	○岩見恭子, 小林さやか, 柴田康行, 山崎剛史, 尾崎清明

口頭発表 B会場 9月15日

9:00	B1	日本愛玩鶏における頭骨形態の多様性	○工藤光平, 小川博, 遠藤秀紀
9:15	B2	化石カモ科における計測値の比較による飛翔性/無飛翔性の判別	渡辺順也
9:30	B3	2011-12年に日本全国で見られたオオジュリンの尾羽の異常	○尾崎清明, 仲村昇, 富田直樹
9:45	B4	フクロウの地域性-声・遺伝子・体サイズでみる傾向-	○森美由希, 西海功, 樋口亜紀, 高木昌興
10:00	B5	カワウを材料とした中学校理科教育教材の開発	○遠藤菜緒子, 小堀紗矢香, 武村政春
10:15	B6	ドライアイスによるカワウの孵化抑制の効果検証	○藤田達也, 山本麻希
10:30	B7	中部地域におけるカワウの育雛期の食性の繁殖地および年による違い	土屋健児, ○新妻靖章, 風間健太郎, 井上裕紀子, 藤井英紀
10:45	B8	カワウの産卵期と育雛期における餌とその一時的な集中分布が産卵開始に与える影響	○井上裕紀子, 藤井英紀, 黒木博文, 土屋健児, 新妻靖章, 綿貫豊
休憩 (11:00 - 11:10)			
11:10	B9	天売島におけるウミスズメの個体数と繁殖記録	○長谷部真, 大槻都子
11:25	B10	ウトウの渡り・越冬生態	○高橋晃周, 伊藤元裕, 鈴木優也, 綿貫豊, 山本誉士, 飯田高大, Philip Trathan, 新妻靖章, 桑江朝比呂
11:40	B11	ヨーロッパヒメウの潜水行動と採食成功: 年齢とハビタットの効果	○綿貫豊, 佐藤克文, 塩見こずえ, Sara Wanless, Francis Daunt
11:55	B12	餌資源の年変化に合わせたオオミズナギドリの採餌戦略	○朝日健斗, 藤井香那, 山本麻希, 山本誉士, 松本祥子, 綿貫豊
昼休み, ポスターセッション (12:10 - 15:20)			
15:20	B13	オオミズナギドリの渡り行動の再現性	○山本誉士, 高橋晃周, 佐藤克文, 岡奈理子, 山本麻希, Philip Trathan
15:35	B14	ジオロケータによるブッポウソウの渡りルートと渡り行動、越冬地の解明	○飯田知彦, 仲村昇
15:50	B15	形態的特徴と行動からみたブッポウソウの雌雄の違い	○山田明代, 黒田聖子, 木村裕一, 坂本明弘, 合田延寿, 三枝誠行
16:05	B16	ブッポウソウの繁殖期における行動パターンと音声コミュニケーション	○合田延寿, 黒田聖子, 山田明代, 三枝誠行
休憩 (16:20 - 16:30)			
16:30	B17	ツミは複数の換羽様式を持つ非常に稀な鳥?	○伊関文隆, 佐藤達夫, 三上かつら, 片岡宣彦, 梶田学
16:45	B18	繁殖前換羽が繁殖地への渡来時のコンディションに与える影響	○岡久雄二, 森本元, 高木憲太郎, 上田恵介
17:00	B19	青森県下北地方におけるイスカ <i>Loxia curvirostra</i> の換羽と体色変化	蛭名純一, ○三上かつら
17:15	B20	新潟市福島潟沿岸で初繁殖したセッカの育雛活動、特に餌生物とその栄養価	千葉晃

口頭発表 A会場 9月17日

10:00	A21	風車に対する感受性を考慮した鳥類の衝突リスクマップ	○北村巨, 竹内亨
10:15	A22	草地性鳥類のハビタット評価のための解析手法の検討	○今井優, 桑原和之, 箕輪義隆, 米林仲
10:30	A23	ダム建設後の氾濫原の景観変化が砂礫堆の鳥類を減少させる - 個体数推定を用いた時空間比較によるアプローチ -	○藪原佑樹, 山浦悠一, 赤坂卓美, 中村太士
10:45	A24	景観の異質性と気候要因が国土スケールの鳥類多様性に与える影響	○片山直樹, 天野達也, 山北剛久, 小松功武, 高川晋一, 植田睦之, 宮下直
休憩 (11:00 - 11:10)			
11:10	A25	アホウドリの保全および繁殖地復元に向けた移送および人工飼育の初期成功	○出口智広, Robert Suryan, 尾崎清明, Judy Jacobs, 佐藤文男, 仲村昇, Gregory Balogh
11:25	A26	太平洋は広い - オガサワラヒメミズナギドリ (仮称) は何処にいる?	○川上和人, 鈴木創, 堀越和夫, 千葉勇人, 江田真毅, 平岡考
11:40	A27	標識による乗鞍岳に生息するライチョウの個体群に関する研究	○小林篤, 中村浩志
11:55	A28	根室半島南側における海鳥のカウント手法の比較	○浦達也, 福田佳弘
昼休み, ポスターセッション (12:10 - 15:20)			
15:20	A29	二次林におけるノグチゲラの営巣場所の特徴: 土地利用変遷・マツ材線虫病被害・タイワンハムシ侵入の影響について	○小高信彦, 阿部真, 齋藤和彦
15:35	A30	ヤンバルクイナ ( <i>Gallirallus okinawae</i> ) 生息分布の南限個体における繁殖事例	○金城道男, 長嶺隆, 仲地学, 中谷裕美子, 江藤奈穂子, 玉那覇彰子, 山口修平, 菊田一朗
15:50	A31	繁殖活動に伴うシロハラクイナの環境利用様式の変化	○岩崎哲也, 伊澤雅子
16:05	A32	水田のハビタット構造と孵化したケリ幼鳥の生残	○脇坂英弥, 脇坂啓子, 中川宗孝, 江崎保男
休憩 (16:20 - 16:30)			
16:30	A33	都市に進出したイソヒヨドリの繁殖とハビタット	○鳥居憲親, 江崎保男
16:45	A34	憂える語り部 - カラスを語る時 -	森下英美子
17:00	A35	札幌市南区と豊平区におけるハシボソガラス ( <i>Corvus corone</i> ) の繁殖状況	○竹中万紀子, 中村真樹子
17:15	A36	札幌市および周辺におけるカササギの冬季記録と繁殖記録について	○中村真樹子, 竹中万紀子

口頭発表 B会場 9月17日

10:00	B21	人慣れスズメ – 出現の記録と背景 –	○樋口広芳, 山口由里子
10:15	B22	北海道中南部のスズメ個体群は大量死から回復したか?	○黒沢令子, 大平羊吾
10:30	B23	スズメはどこで、なぜ減少しているのか – 住宅の新旧による影響と、減少している地域の土地利用変化 –	○三上修, 三上かつら, 松井晋, 森本元, 上田恵介
10:45	B24	一夫一妻のセキセイインコでは配偶者のコールへの鳴き返し行動に性差がある	○藤原宏子, 畠由佳, 稲沼まどか, 渡辺愛子, 佐藤亮平, 宮本武典
休憩 (11:00 - 11:10)			
11:10	B25	クサトベラの二型 – 鳥と海による種子散布能力の違い	○栄村奈緒子, 酒井美由紀, 傳田哲郎, 安藤温子, 井鷲裕司, 宮田和裕, 上田恵介
11:25	B26	伊豆諸島のヤマガラ的大型化と食物サイズとの関係	○藤田薫, 藤田剛, 樋口広芳
11:40	B27	メジロにおける一腹卵数の地理的変異 – 緯度×島 –	○堀江明香, 高木昌興
11:55	B28	ダイトウコノハズクの発声行動に影響をおよぼす環境要因	○中岡香奈, 井上千歳, 堀江明香, 高木昌興
昼休み, ポスターセッション (12:10 - 15:20)			
15:20	B29	発見! 小鳥のことば	鈴木俊貴
15:35	B30	シジュウカラの2種類の警戒声に対する他種の反応	鈴木俊貴, ○杉田典正
15:50	B31	鳥装着用S帯送受信モジュールのアンテナ性能の基礎的評価	○中島功, 北野利彦, 猪口貞樹, 尾崎清明
16:05	B32	鳥装着用S帯送受信モジュールの伝搬特性の基礎的評価	○北野利彦, 中島功, 猪口貞樹, 尾崎清明
休憩 (16:20 - 16:30)			
16:30	B33	アビ科の鳥の名前の語源解明 – 100年前の初代会頭、飯島魁博士の提言によせて –	百瀬淳子
16:45	B34	キジ方言考	林暁央
17:00	B35	骨中鉛濃度の測定による遺跡出土のガチョウ識別の試み	○江田真毅, 小玉悠平, 石丸恵利子, 米田稔

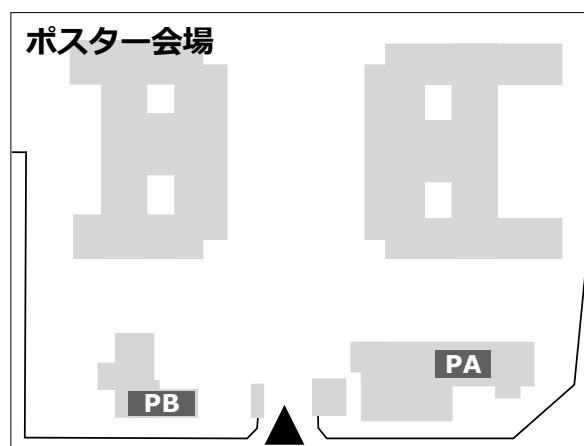
# ポスター発表

9月15日 コアタイム (奇数番号) 13:10-15:10

9月17日 コアタイム (偶数番号) 13:10-15:10

PA 会場 : 弥生講堂

PB 会場 : 弥生講堂アネックス



農学部正門

## ポスター発表 PA会場 (弥生講堂) 1

番号太字 : ポスター賞応募

PA1	タンチョウと人との関係史 -江戸時代における分布と季節移動を中心に-	久井真世
PA2	給餌場におけるタンチョウの冬期採餌量	伊藤加奈
PA3	北海道に生息するタンチョウの個体群存続性分析 (2012年版)	○正富欣之, 正富宏之, 百瀬邦和
PA4	出水におけるツル類の死亡数と死亡原因	○原口優子, 吉野智生
PA5	ナベツルの風切羽の換羽は何年周期で起きるのか? -写真を用いた推測方法の検討-	増山雄士
PA6	クロツラヘラサギ <i>Platalea minor</i> の近縁種におけるコントロール領域の重複構造の解析	○曹炯柱, 西海功, 荒谷邦雄 *発表キャンセル
PA7	東京近郊におけるアオサギ繁殖地の分布と特性	白井剛
PA8	サギ類集団繁殖地におけるゴイサギの若齢個体の繁殖について-求愛行動とつがい形成-	渡辺央
PA9	溜池におけるヨシゴイ ( <i>Ixobrychus sinensis</i> ) の営巣生態	佐原雄二
PA10	シギ・チドリ類の食性に配慮した干潟生態系の保全と再生	○桑江朝比呂, 三好英一
PA11	島根県において繁殖するシロチドリのつがい数の推定について	○森茂晃, 星野由美子, 豊田暁
PA12	救護されたダイシャクシギから見つかった寄生吸虫 <i>Selfcoelum capellum</i>	○巖城隆, 岩見恭子, 小林さやか, 鶴見みや古
PA13	アマミヤマシギの <i>Scolopax mira</i> の生態: 標識個体の自動撮影による行動記録	石田健, ○鳥飼久裕, 川口秀美, 山室一樹
PA14	ヤンバルクイナ ( <i>Gallirallus okinawae</i> ) の人工孵化	○中谷裕美子, 長嶺隆, 杉田平三, 金城道男, 江藤奈穂子, 山口修平, 玉那覇彰子, 福田真
PA15	飼育下におけるヤンバルクイナ <i>Gallirallus okinawae</i> の成長記録	○江藤奈穂子, 山口修平, 玉那覇彰子, 中谷裕美子, 仲地学, 金城道男, 長嶺隆, 福田真
PA16	ガンカモ一斉調査結果を活用したガン類渡来羽数変動に係る一考察	尾原正敬
PA17	伊豆沼・内沼における渡り性ガンカモ類による栄養塩持込量の40年の経年変化	○中村雅子, 嶋田哲郎, 矢部徹, 相崎守弘
PA18	平成23年度 出水平野におけるカモ類羽数調査	○溝口文男, 宮崎泰子, 原口優子, 竹内智子
PA19	富士山麓におけるシジュウカラガン (大型亜種) の繁殖状況と今後の対策について	○加藤ゆき, 篠田授樹, 葉山久世, 石井隆
PA20	片野鴨池で越冬するトモエガモの渡りルートの衛星追跡	○田尻浩伸, 櫻井佳明, 田米希久代, 中野夕紀子, 山本芳夫, 池田豊隆, 山村嘉康, 岡本裕子
PA21	カンムリカイツブリのルースコロニー形成	○中濱翔太, 佐原雄二
PA22	広島県の鳥「あび」の個体数はなぜ減少したか	○藤井香織, 藤井格

## ポスター発表 PA会場 (弥生講堂) 2

番号太字 : ポスター賞応募

---

PA23	安定同位体比分析による琵琶湖のオオバンの食性解析	○橋本啓史, 須川恒, 植田潤
PA24	カモの仲間の鳴管の形態について	小木曾チエ
PA25	阿武隈山地北部の景観と鳥類	石田健
PA26	東日本大震災による東北地方太平洋岸のガンカモ類への影響	平泉秀樹
PA27	オオミズナギドリは福島沖をどう利用するかー行動圏から放射能被曝を予測するー	岡奈理子
PA28	東日本大震災後の蒲生干潟における鳥類生息状況	○佐場野裕, 上村左知子, 中嶋順一
PA29	長崎県対馬におけるアビ類の油汚染について	○植松一良, 渡辺浩幸, 山本英恵, 植松明香, 貞光隆志, 西剛
PA30	奄美大島における鳥類の窓ガラスへの衝突事故の発生状況	○水田拓, 阿部優子
PA31	防鹿柵の設置は鳥類群集の回復に寄与しているのか?	○奥田圭, 小金澤正昭
PA32	いまソウシチョウは、富士山北麓のどこにどのくらいいるのか?	西教生
PA33	ルリカケスの早春繁殖についての考察ー雛の糞分析及び生息環境の動物多様性からの知見ー	○谷智子, 石田健, 森貴久, 高美善男
PA34	モズの雌による雄への餌乞い: 雄の質を見極める?	○遠藤幸子, 鈴木俊貴
PA35	モズは鳴きマネ名人?	○西田有佑, 黒田治男, 高木昌興
PA36	捕食者に対するさえずり?ーガビチョウの警戒音声ー	宮澤絵里
PA37	ビビってる? 鳥影に怯えるツミの営巣地に生息するシジュウカラ	植田睦之
PA38	マクジャクとインドクジャクの求愛ディスプレイ行動の比較	高橋麻理子
PA39	草原棲小型鳥類4種の羽毛微量元素分析を用いた移動履歴解明手法の開発	○坂有希子, 蛭名純一, 作山宗樹, 三上かつら, 東信行
PA40	マイクロサテライトを用いた北海道のカササギ侵入個体群の起源解析	○森さやか, 長谷川理, 江口和洋, 早矢仕有子, Alexey Kryukov, 西海功
PA41	マイクロサテライトマーカーを用いたコウノトリの遺伝解析	○内藤和明, 西海功, 大迫義人
PA42	韓国に生息するフクロウ科、タカ科、ハヤブサ科、ヨトカ科におけるCOI遺伝子を用いた系統関係	○陳善徳, 白寅煥, 俞在平, 白雲起, 李漢洙, 徐東園, 李準憲
PA43	絶滅危惧種アカガシラカラスバトの採食植物特定におけるDNAバーコーディングの活用	○安藤温子, 鈴木節子, 堀越和夫, 鈴木創, 梅原祥子, 村山美穂, 井鷲裕司
PA44	渡り期におけるオオジュリンの幼鳥/成鳥比の経年変化と地域差	○富田直樹, 森本元, 吉安京子, 尾崎清明

---



## ポスター発表 PA会場 (弥生講堂) 3

番号太字 : ポスター賞応募

---

PA45	鳥類に装着する GPS-TX の測位精度評価	○矢澤正人, 時田賢一, 高橋広和, 東淳樹, 前嶋美紀, 瀬川典久, 玉置晴朗
PA46	カラスの侵入を抑えるテグスの設置間隔と果樹園における設置方法	○吉田保志子, 佐伯緑, 百瀬浩
<b>PA47</b>	地上営巣性鳥類の巣をカラス類による捕食から防ぐ防護柵の開発	○星谷由紀子, 松村雅行, 佐藤達夫, 奴賀俊光, 小堀洋美, 北村亘
PA48	GPS-TX を用いたハシブトガラスの行動追跡	○東淳樹, 瀬川典久, 高橋広和, 西千秋, 時田賢一, 矢澤正人, 玉置晴朗
<b>PA49</b>	沖縄本島に生息するリュウキュウハシブトガラスの農場利用状況	○齋藤仁志, 森貴久
PA50	オオニワシドリにおけるあずまやの方向性	○江口和洋, 勝野陽子
PA51	日本産鳥類における羽毛の小羽枝構造からの識別の可能性について	藤井幹
<b>PA52</b>	アカショウビン 2 亜種間の色彩比較	○角田真穂, 森本元
PA53	Breeding territory characteristics of <i>Parus spp.</i> in a urban area, the Republic of Korea	Sung Jin PARK, Se Young PARK, ○Woo-Shin LEE

---

## ポスター発表 PB会場 (弥生講堂アネックス) 1

番号太字 : ポスター賞応募

PB1	枇榔島・幸島におけるカムリウミスズメの鳴き声	○橋口大介, 藤井格, 藤井香織
<b>PB2</b>	三重県耳穴島におけるカムリウミスズメの繁殖確認 – 集団遺伝構造の解明に向けた予備的調査 –	○小田谷嘉弥, 堀内弘, 本多正尚
PB3	瀬戸内海西部海域におけるカムリウミスズメと流れ藻の関係Ⅱ	○藤井格, 藤井香織, 橋口大介, 鈴木淳司
PB4	北海道東部の太平洋上におけるカムリウミスズメの観察記録	○千嶋淳, 片岡義廣, 長雄一, 青木則幸, 久保清司, 笹森琴絵
PB5	Surveys of Japanese Murrelets ( <i>Synthliboramphus wumizusume</i> ) at Birojima, Japan, 2011 - 2012	○Darrell L. Whitworth, Harry R. Carter, Yutaka Nakamura, Masayoshi Takeishi, Shigeo Sato, Kuniko Otsuki
PB6	カムリウミスズメの洋上分布の推定とマリーンIBA (Important Bird Areas)選定への応用	○山本裕, 佐藤真弓, 中村豊, 佐藤仁志, 安藤康弘, 江崎逸郎, Mark Miller, Philip Taylor, Ben Lascelles, 森茂晃, 葉山政治, 小林豊
<b>PB7</b>	コアジサシの抱卵温度調節行動と巣材に使用される貝殻による温度下降効果	○奴賀俊光, 川久保美鈴, 弦間友梨, 小堀洋美, 北村亘
<b>PB8</b>	ウミネコの非繁殖期の渡り移動と行動: 繁殖した個体と繁殖を見送った個体との比較	○風間健太郎, 平田和彦, 山本誉士, 橋本啓史, 高橋晃周, 新妻靖章, Trathan P. N., 綿貫豊
PB9	セグロカモメの繁殖地を探せ! – 第一段階: 越冬地でわかってきたこと –	○佐藤達夫, 野長瀬雅樹, 山口誠, 川口泰広, 鈴木陽子, 岩崎加奈子, 山本尚子, 堀江聡美
<b>PB10</b>	オキアミとイカナゴを給餌したウトウ雛の消化率と成長	○糸佑奈, 新妻靖章, 風間健太郎, 伊藤元裕, 山下麗, 綿貫豊
<b>PB11</b>	瀬戸内海洋上でのウトウ観察記録	○渡辺浩幸, 山本英恵, 岩崎脩, 竹本明日香, 黒田ゆうび, 植松眞理, 植松明香, 森千恵子, 植松一良
<b>PB12</b>	天売島におけるケイマフリの繁殖数と親鳥の採餌海域の示唆	○先崎理之, 長谷部真
PB13	日本におけるカワウの集団繁殖地と集団ねぐらの分布 その3	加藤ななえ
<b>PB14</b>	千葉県沿岸と利根川下流におけるカワウとウミウの分布	○箕輪義隆, 桑原和之
<b>PB15</b>	日本のカワウの繁殖期 なぜ、関東地方のカワウは秋に繁殖するのだろうか?	○奥田幸男, 奥田幸江
<b>PB16</b>	フクロウ ( <i>Strix uralensis</i> ) の趾骨格可動域に関する三次元画像解析	○鈴木瑞穂, 佐々木基樹, 山田一孝, 段麻優子, 小野香織, 柳川久, 押田龍夫, 北村延夫
PB17	DNAマーカーによるシマフクロウの個体識別とその展開および長期サンプリングと保存の重要性	○竹中健, 表深太, 西田千鶴子, 増田隆一
<b>PB18</b>	ダイトウコノハズクによる隣接個体と未知個体の判別	○井上千歳, 中岡香奈, 高木昌興
PB19	韓国の春期におけるワシミミズクの行動圏	○金成顯, 姜勝求, 姜兌翰, 金撻湖, 李漢洙, 許位行, 金眞漢, 韓尚勲
<b>PB20</b>	絶滅危惧種シマフクロウにおける遺伝的多様性および集団構造の変遷	○表深太, 西田千鶴子, 竹中健, 齋藤慶輔, 志村良治, 増田隆一
<b>PB21</b>	岩手県および福岡県における育雛期サシバの食物動物とその地域差	○神水彩花, 東淳樹, 板谷浩男, 鈴木篤博, 金子健太郎, 伊関文隆
PB22	山のサシバはどのような餌動物を巣に運ぶか?	○今森達也, 野中純, 増川勝二, 堀田雅貴, 堀田統大, 佐川貴久

## ポスター発表 PB会場 (弥生講堂アネックス) 2

番号太字 : ポスター賞応募

PB23	サシバ ( <i>Butastur indicus</i> ) はどのような時に針葉樹の枝を巣に持ってくるか	○酒井すみれ, 安田雅俊, 百瀬浩, 樋口広芳
PB24	ミトコンドリア DNA を用いたサシバの遺伝的多様性及び遺伝的構造の解析	○長井和哉, 東淳樹
PB25	北海道十勝平野における猛禽類3種 (ノスリ、オオタカ、ハイタカ) の営巣林分の林齢	○平井克亥, 柳川久
PB26	韓国の越冬期におけるクロハゲワシの行動圏	○李時玩, 姜兌翰, 金仁奎, 金撻湖, 曹海珍, 申龍運, 韓勝宇, 金成顯
PB27	イヌワシ雛の摂餌行動	前田琢
PB28	オジロワシの風車衝突事故の現状	○白木彩子, 猪野雅史
PB29	知床半島におけるオジロワシ繁殖状況モニタリング	○中川元, 森信也, 石井英二, 涌坂周一, 山中正実, 増田泰, 田澤道広, 石名坂豪, 白木彩子
PB30	東京大学弥生キャンパスとその周辺における鳥類の空間選好性と行動	○橋本英奈, 加藤和弘
PB31	北海道東部地域における森林性鳥類の生息状況	玉田克巳
PB32	多摩川中流域における鳥類相の変遷	○石江彬, 山中日奈子, 岡久雄二, 平山瑛一, 岩佐奈生子, 岩本愛夢, 岡崎祥子, 神田やよい, 瀬戸隆之, 高階あゆみ, 東郷なりさ, 新倉夏美, 藤津亜季子, 星野莉紗, 桑原和之
PB33	繁殖期におけるヨタカ的环境選好	○木本祥太, 加藤和弘, 今森達也
PB34	栃木県におけるヨタカの生息状況	○平野敏明, 野中純, 石濱徹, 長野大輔, 手塚功, 川田裕美
PB35	新潟県長岡市周辺におけるキバシリ <i>Certhia familiaris</i> の分布と積雪との関係	岩本二郎
PB36	広葉樹パッチのあるスギ人工林で営巣したヤマガラの給餌行動	○近藤崇, 肘井直樹
PB37	ウワミズザクラの多様な果実色に対するメジロの果実選択行動	○辻愛子, 川窪伸光
PB38	クマゲラとオオアカゲラの採餌痕の比較	雲野明
PB39	大潟村におけるアリスイの基礎的な繁殖生態	○加藤貴大, 土橋亮太, 三上かつら, 上田恵介
PB40	北海道におけるミユビゲラの観察記録	長谷智恵子, 稗田一俊, 望月達也, ○荒哲平, 東淳樹
PB41	全国の自然環境調査データから個体数の増減を考える - スズメの減少を例として -	○森本元, 三上修, 三上かつら, 松井晋, 笠原里恵, 上田恵介
PB42	スズメの喉の黒色部の大きさはオスの質をしめすのか?	○松井晋, 笠原里恵, 加藤貴大, 泉洋江, 森本元, 上田恵介, 三上修
PB43	スズメは一日にどれくらい食物を摂るのか	○山口恭弘, 百瀬浩, 吉川圭子
PB44	農地環境と都市環境におけるスズメの巣内雛の食性の比較	○笠原里恵, 松井晋, 東信行, 山口恭弘, 三上修, 上田恵介

## ポスター発表 PB会場 (弥生講堂アネックス) 3

番号太字 : ポスター賞応募

- 
- |             |  |   |
|-------------|--|---|
| <b>PB45</b> | 温度に対するツバメの行動的可塑性 – 温暖化に向けた基礎研究 –       | ○小松直哉, 小堀洋美, 北村巨  |
| PB46        | イソヒヨドリの内陸への繁殖分布拡大の要因を探る                | 粕谷和夫  |
| <b>PB47</b> | コムクドリは渡りの中継地の大阪で換羽する                   | ○奥田幸江, 奥田幸男   |
| PB48        | 全国の市街地でのムクドリの集団増の増加とその形成要因について         | 越川重治  |
| PB49        | 三浦半島に於ける2001-2002年のヒヨドリ分布および変動について     | 橋口陽子  |
| <b>PB50</b> | ブッポウソウの繁殖生態 : 6年間の繁殖成績からみえてきたこと        | ○黒田聖子, 峯光一, 丸山健司, 中村浩志, 三枝誠行                                |
| PB51        | ヤブサメの夜間さえずり活動の年変動と地域差                  | ○上沖正欣, 上田恵介   |
| PB52        | 行動文脈によるジュウシマツ成鳥の歌の変化と維持の機構             | ○渡辺愛子, 藤原宏子, 宮本武典   |
| <b>PB53</b> | 宿主によるカッコウのヒナ排除のメカニズム : 学習によるヒナ識別の可能性   | ○佐藤望, 田中啓太, 三上修, 上田恵介                                       |
| PB54        | 武蔵野台地とその周辺におけるカッコウの生息分布                | ○板谷浩男, 松本昇也, 川辺洪, 原田慈照, 鬼久保浩正, 小名木道之, 木本祥太, 西川雄太, 益子理, 守屋年史 |
| PB55        | カメラが見た、ICレコーダーが聴いた、無人島 : トカラ列島臥蛇島の鳥類調査 | 関伸一   |
| PB56        | 電波を利用した鳥類の位置を知る観察装置の開発と実用化のその後         | ○時田賢一, 高橋広和, 矢澤正人, 東淳樹, 前嶋美紀, 瀬川典久, 樋口広芳, 玉置晴朗              |
| PB57        | 日本国内における高病原性鳥インフルエンザの野鳥感染 2010 - 2011  | ○金井裕, 根上泰子  |
| PB58        | 上部消化管カテーテルによる心電図記録                     | ○中田薫, 北野利彦, 中島功, 桑平一郎, 秦順一                                  |
| PB59        | メイキング オブ「鳥の形態学ノート」2                    | 川口敏   |
| PB60        | 鳥獣採集家折居彪二郎氏について                        | ○大畑孝二, 説田健一, 鷺田善幸   |
| PB61        | 柳原鳥類コレクションについて (2) 折居彪二郎が採集した標本        | 説田健一  |
| PB62        | 茶の湯の羽箒の鳥種について                          | 下坂玉起  |
| PB63        | 小川三紀コレクションについて – 明治期の鳥類標本 –            | ○小林さやか, 鶴見みや古   |
| PB64        | 南山城鳥類目録・希少鳥類の生息状況と変遷                   | ○中川宗孝, 上野きよ子, 脇坂英弥, 大植登, 竹内康, 山中十郎, 富士鷹なすび                  |
| PB65        | 天逝の鳥類学者小川三紀 – 業績と寄贈されたコレクション –         | ○鶴見みや古, 小林さやか   |
-

## ポスター発表 PB会場 (弥生講堂アネックス) 4

番号太字 : ポスター賞応募

## 中学生・高校生の部

- 
- |             |  |                       |
|-------------|--|-----------------------|
| <b>PB66</b> | セイキチョウ2種の求愛ディスプレイの解析   | ○原田芽生, 太田菜央, 相馬雅代     |
| <b>PB67</b> | メボソムシクイ ( <i>Phylloscopus borealis xanthodryas</i> )<br>の囀りの声紋分析 | 廣野武, 上村真太郎, 山名敦子, 中村進 |
| <b>PB68</b> | 越冬期の採食縄張りにおけるモズとジョウビタキと<br>の関係                                   | 飯島大智                  |
| <b>PB69</b> | 飼育下カラスバトの換羽はどのようにおこるのか   | 井上万里花, 鯉江茜, 森下美菜      |
| <b>PB70</b> | 戸隠森林植物園における過去30年間の鳥類相の変化   | 宮澤小春                  |
| <b>PB71</b> | 安定同位体比で検討するカラスバトの食生態   | 佐藤匠, 小西浩平, 深谷凜, 吉岡佑真  |
| <b>PB72</b> | 光波長の違いが鶏卵生産に与える影響  | 鈴木健太, 鈴木真由            |
| <b>PB73</b> | 武尊山 (ほたかやま) における野鳥調査 2012  | 大嶋克海 他                |
-

# 自由集会

9月14日 18:00 - 20:00

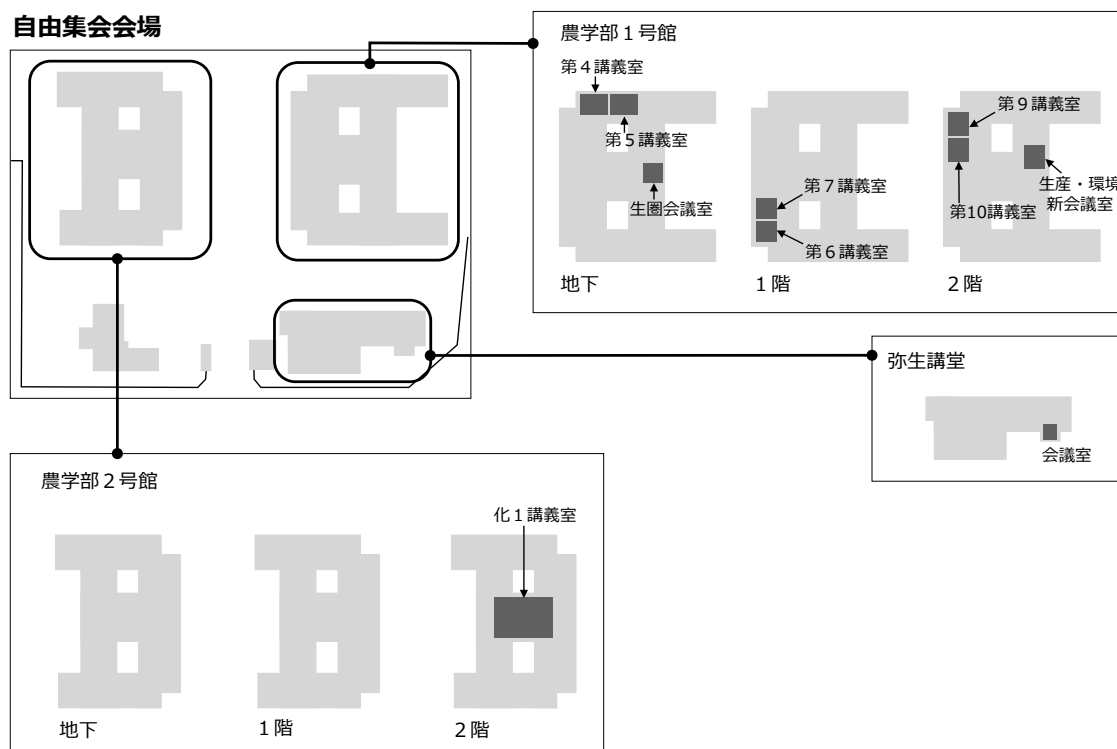
9月15日 18:00 - 20:00

9月17日 18:00 - 20:00

農学部 1号館：第4、第5、第6、第7、第9、第10講義室  
生産・環境新会議室、生圏会議室

農学部 2号館：化1講義室

弥生講堂：会議室



## 自由集会

### 100周年記念 Round Table Discussion

**9月15日 18:00 - 20:00**

**RTD A.** ニホンライチョウの遺伝的分化と高山環境への生態適応

世話人 小林篤・中村浩志

会場 農学部1号館 生産・環境新会議室

**RTD B.** 最先端技術を用いた鳥類の分子系統学の現状

世話人 齋藤武馬・関伸一・平岡考・西海功

会場 農学部1号館 生圏会議室

**RTD C.** 鳥類の形態と運動の進化を考える：鳥類学と古生物学の知識の融合を目指して

世話人 江田真毅・綿貫豊

会場 農学部1号館 第9講義室

**RTD D.** 参加型調査による鳥類の分布・生活史等の研究

世話人 植田睦之・黒沢令子・神山和夫

会場 弥生講堂 会議室

## 自由集会

**9月14日 18:00 - 20:00**

**R1.** ガンカモ類重要生息地ネットワーク支援・鳥類学研究者グループ：JOGA 第15回集会「ガンカモ類のフライウェイ研究と地域個体群の認識・保護計画」

企画者 ○須川恒・神山和夫・森口紗千子

会場 農学部2号館 化1講義室

**R2.** アビ科の鳥の理解 (分布・渡り)

企画者 百瀬淳子

会場 農学部1号館 第9講義室

**R3.** 生活史戦略 再考！

企画者 堀江明香・高木昌興

会場 農学部1号館 第10講義室

**9月15日 18:00 - 20:00**

**R4.** 鳥はどこ？ ここはどこ！ Part 2 -生きものの移動を知るさまざまな取り組み-

企画者 ○時田賢一・樋口広芳・玉置晴朗

会場 農学部1号館 第4講義室

**R5. 洋上風力発電が海鳥に与える影響：その評価方法と日本における課題**

企画者 風間健太郎・長谷川理

会場 農学部1号館 第5講義室

**R6. Oology のススメ ～鳥の卵の"妙"～**

企画者 田中啓太・北村巨

会場 農学部1号館 第6講義室

**R7. カワウを通して野生生物と人の共存を考える (その15) カワウ被害対策の現場の声を聞く**

企画者 山本麻希・加藤ななえ

会場 農学部1号館 第7講義室

**R8. シギ・チドリ類研究の集会 -水田・蓮田におけるシギ・チドリ類の環境選好-**

企画者 守屋年史・西川雄太

会場 農学部1号館 第10講義室

**9月17日 18:00 - 20:00**

**R9. 都市鳥研究の現在とこれから**

企画者 川内博・越川重治・柴田佳秀

会場 農学部1号館 第4講義室

**R10. 鳥類への餌やりを考える (第4回) 人間活動に依存した鳥類の採餌**

企画者 平田和彦

会場 農学部1号館 第5講義室



**総会** 16日 9:00-10:00 に安田講堂で行います。学会員は極力出席してください。

#### **受付**

- 14日 農学部1号館 16:00-18:00
- 15日 弥生講堂 (A会場とPA会場のある建物) 8:00-18:00
- 16日 安田講堂 8:30-17:30
- 17日 弥生講堂 8:30-18:00

#### **クローク**

- 15日 弥生講堂 8:00-18:00
  - 17日 弥生講堂 8:30-18:00
- 自由集会には荷物を引き取ってからご参加ください。

**書籍・機器展示販売** 大会中、業者の展示販売を弥生講堂アネックスで行います。ご利用ください。

**昼食** 学内の学食やカフェが利用できる日時は以下のとおりです。受付時に大学周辺のレストラン・カフェ情報をまとめた地図もお渡しします。ご利用ください。

#### **農学部**

レストラン アブルボア(向ヶ丘ファカルティハウス1階) : 15日 11:00-22:00

#### **安田講堂そば**

- 中央食堂 (安田講堂前 広場地下) : 15-17日 11:00-14:00
- スターバックスコーヒー(工学部11号館1階) : 15-17日 9:00-20:00
- ドトールコーヒー (理学部1号館1階) : 15日 10:00-18:00、16-17日 10:00-17:00
- サブウェイ (工学部2号館1階) : 15日 10:00-17:00

**駐車場** 構内には自家用車を駐車できるスペースはありません。

---

**鳥の学校** 大会後に行われます。会場は日本大学です。

日程 : 9月18-19日

会場 : 日本大学 (最寄り駅 : 御茶ノ水)

テーマ : R 統計学中級講座:統計モデリングとプログラミング

講師 : 田中啓太 (立教大・理)・北村亘 (電中研・生物環境)

詳しくは、以下のウェブサイトをご覧ください。

[http://ornithology.jp/osj/japanese/iinkai/kikaku/gakkou\\_theme5\\_annai.html](http://ornithology.jp/osj/japanese/iinkai/kikaku/gakkou_theme5_annai.html)

## 発表のてびき

### 口頭発表

#### 発表時間

発表: 12分

質疑応答: 2分30秒

予鈴: 発表開始後 10 分、2 鈴: 12分、終鈴: 14分30秒

#### 形式

ソフトウェア: Microsoft PowerPoint 2010、Adobe Reader 9

ファイル形式: ppt、pptx、pdf (ver 1.6 以下)

OS: Windows 7 か Windows XP

ファイルサイズ: 5メガバイト以下

#### 提出

##### 1. 発表前日に受付へ持参可能な方

方法: ファイルを、USBフラッシュメモリ (FATフォーマット) か CD-R に入れ、大会受付へご持参ください。

期限: 発表前日 18:00

##### 2. それ以外の方

方法: [info@osj100.org](mailto:info@osj100.org) 宛に電子メールで。

期限: 14日 18:00

#### お願い

発表を円滑に行うため、発表時は備付けのPCのみを使用します。ファイルサイズは、極力小さくしてください。バックアップとして、当日、USBフラッシュメモリで同じファイルをご持参ください。

### ポスター発表

#### 形式

サイズ: たて 115 cm、よこ 85 cm 以下

#### 掲示

掲示期間は9月15日 9:00 から 17日 17:30 です。この間であれば、掲示時期は自由です。ただし、以下のコアタイム前には掲示し終えるようにしてください。**ポスター賞応募者は、15日 9:00 から掲示を行ってください。**

#### コアタイム

ポスター番号が奇数の発表は15日、偶数は17日です。発表者は、コアタイム (13:10-15:10) はボード前で解説をお願いします。掲示用の画紙、テープ等はこちらで用意いたします。

#### お願い

発表時、声を大きくしすぎないなど、周囲への配慮をお願いいたします。バックアップとして、当日、USBフラッシュメモリで同じファイルをご持参ください。

### 自由集会

自由集会の開催時間は、14、15、17 日ともに 18:00-20:00 です。会場の運営と片付けは、主催者の責任で行ってください。

---

## 中・高校生発表

例年通り、高校生による発表の場を設けます。また、今年度は中学生からの発表申込みがありましたので、高校生と一緒に場で発表してもらいます。この中・高校生発表では、中・高校の部活動などで鳥類の研究をしている生徒のかたがたに、自身の研究をポスター形式で発表してもらいま

す。大会会長による表彰を17日に弥生講堂ポスターPA会場で行います。

参加される生徒のみなさまには、鳥学会の研究者との討論を通じて、それぞれの研究にとって有益な意見や情報を得ていただければと思います。また、大会におけるほかの研究発表を見聞きすることで、学術的な情報や刺激を得る機会になれば幸いです。

一般ならびに学生の参加者のみなさまには、ぜひ、中・高校生による発表を聞いていただいて、彼らの研究の発展をもたらし、あるいは鳥類学に対してより一層の興味を引き出すようなご意見、ご助言をくださいますようお願いいたします。また、ご自身の研究を中・高校生たちに説明する際には、言葉を補うなどのご配慮をお願いいたします。

---

## ポスター賞

今大会では、学会員によるポスター発表のうち優れたものに対して、大会会長から賞が贈られます。表彰は、16日の懇親会（会場：東京大学生協中央食堂）で行われます。

### 賞を贈る目的

- ・優れたポスター発表を讃え、受賞者の今後の研究の励みとしていただく。
- ・学会全体としての研究発表のさらなる活性化を目指す。

### 選考対象および選考日

大会参加・講演申し込みの際に、ポスター発表に申し込み、かつポスター賞に応募された発表を対象とします。ポスター賞の審査は原則15日に行います。

**注意：ポスター賞の応募者は15日の9:00からポスターの掲示を行ってください。**事情により本人が掲示を行えない場合には、代理のかたにポスターを託して掲示してもらうようにしてください。

### 賞

最優秀賞（1件）と優秀賞（若干）。最優秀賞については、後述する基準を満たさない場合には、該当なしとすることがあります。

### 選考方法

大会実行委員会が依頼した複数の審査員（一部大会実行委員を含む）により、採点制で評価します。

### 選考基準

- (1) ポスターのデザイン：タイトルや要旨のわかりやすさ、見やすい配色やレイアウト、視線を引き付ける工夫、過不足のない情報量など。
- (2) 研究の質：新規性、独創性、データの質、量、解析方法、議論や結論の妥当性など。

### 受賞基準

(1)と(2)をそれぞれ7点満点で評価し、合計点（14点満点/審査員、3人の審査員で合計42点）に基づいて最優秀賞と優秀賞を選出します。ただし、最優秀賞については、すべての審査員が両項目とも5以上の評価をしたものであることを条件とします。また同点が生じた場合には、(2)の得点が高い方を優先します。

### 備考

受賞ポスターには、受賞を示す印を付与します。また、受賞者の同意が得られれば、大会ウェブサイトにてポスターのPDFファイルを公開します。

## 初めて鳥学会大会に参加される方へ

### 鳥学会の大会

大会は、日本鳥学会の会員が中心になり年1回催している、研究発表と情報交換の場です。参加費を払えば、誰でも参加できます。参加費は、当日、受付でお支払いください。

発表するためには、事前に申込が必要です。今年の発表申込は、7月13日に締切ました。発表者は、鳥学会会員である必要があります。研究発表は、口頭発表、ポスター発表の2種類あります。自由集会と呼ばれる、テーマに沿った複数の発表や議論が行われる集まりもあります。

今年は、研究発表以外に、鳥学会100周年を記念した式典とシンポジウムも開かれます。

### 今年の大会

正式名称は日本鳥学会2012年度大会（100周年記念大会）で、同大会実行委員会が中心になり、準備を進めています。

### 発表

**口頭発表** 研究内容をスライドにまとめた発表で、発表時間は12分、質問や議論の時間が2分30秒です。今年の発表は、全部で71題。15日と17日の午前と午後に行われます。

**ポスター発表** 研究内容を1枚のポスターにまとめた発表です。ポスターは、たて115cm、よこ85cm以内のサイズであれば、形式は自由です。今年の発表は、全部で126題。

発表者による説明は15日と17日のコアタイム（13:10-15:10）に行われます。ただし、掲示は15日から17日まで3日間にわたって可能です。

**自由集会** 形式は「自由」ですが、テーマに沿った複数の研究発表や話題提供と、参加者も加わった議論という構成を取ることが多いようです。時間は全体で約2時間。今年は14の集会（100周年記念 Round Table Discussion 4つを含む）が企画されています。

### 100周年記念行事

日本鳥学会は、明治45年5月3日、東京帝国大学理科大学動物学教室の飯島魁教授の呼びかけで発足し、今年100周年を迎えました。それを記念し、今年の大会では記念式典、記念講演、記念シンポジウムを催します。また、自由集会形式で3つの Round Table Discussion も行われます。記念博物館展示も、大会と並行して東京大学総合博物館で開催されていますし。これらはすべて100周年記念式典実行委員会が、準備と運営を行っています。

**日本鳥学会 2012 年度大会 (100周年記念大会) プログラム**

2012年8月20日発行

編集・発行 日本鳥学会 2012 年度大会事務局

email: [info@osj100.org](mailto:info@osj100.org)

URL: [osj100.org](http://osj100.org)